



=第2回歌曲セミナー "リーダークライス" へのお誘い=



2010年、ローベルト・シューマンの生誕200年の年に第一回目を開催したウィーンの森の歌曲セミナー「リーダークライス」は、もともと4年に一度の周期での開催を目指していましたが、2014年はみどり・オルトナーの罹病により見送りとなりました。久しぶりの歌曲講習会、今年は少し趣向を変え、観光を目的の音楽愛好者も大歓迎です。シューマンの代表的な歌曲作品にちなんだ「リーダークライス」（歌の輪）というこの歌曲講習会は、ドイツ歌曲を愛する全ての方々を対象に、素人さんも初心者も、また歌曲を歌ったことの無いピアニストたちも大歓迎。講習の会場はウィーンの森にある協会本部にて、期間は7月10日から4日間みっちり音楽を体験し、その後2日天気に合わせて観光を楽しみます。音楽のお勉強より観光中心、音楽は聴くだけで充分、という方には、10日から「モーツァルト・デー」「シューベルト・デー」などの、楽聖にちなんだドライブ観光と夜のコンサートの一週間を。講習の具体的な内容は、日中はピアノレッスンや発声や歌曲のグループ乃至個人レッスン、コレペティツィオン、ドイツ語の発音練習、夜はプロの演奏者によるコンサートを鑑賞する、音楽漬けの4日間です。音楽のお好きな方々と、このウィーンの森の自然の中で、ドイツ歌曲・ピアノ音楽の親しみやすさと奥深さを、共に分かち合いたいと思います。日本からの参加者は最高18名までで締め切らせていただきます。今年はシューベルト、モーツァルト、ベートーヴェン、ハイドンの歌曲並びにピアノ曲に重点を置き、勿論シューマンそして特別に、今年で死後100年を迎えるフランス歌曲の鬼才、C. ドビュッシーの作品も、今回のセミナーの注目点となります。歌曲との関連性の強いピアノ曲として、メンデルスゾーンが無言歌集やシューマンのピアノ小曲群も、特に伴奏を勉強したいピアニストたちには格好の作品です。それ以外の作曲家の作品でも、どうしてもオペラを歌いたい、という方も、勿論喜んでご一緒したいと思います。長時間の飛行は体にこたえるものなので、最も体の負担の少ない経路を選んでのツアーですが、僕は若くて長時間でも大丈夫、飛行機もホテルも自分で安いものを選びたい、という方はもちろん、現地での講習のみ参加もOKです。ご相談ください。また早朝出発のため前日成田宿泊をご希望の方も、ご相談ください。



トの一週間を。講習の具体的な内容は、日中はピアノレッスンや発声や歌曲のグループ乃至個人レッスン、コレペティツィオン、ドイツ語の発音練習、夜はプロの演奏者によるコンサートを鑑賞する、音楽漬けの4日間です。音楽のお好きな方々と、このウィーンの森の自然の中で、ドイツ歌曲・ピアノ音楽の親しみやすさと奥深さを、共に分かち合いたいと思います。日本からの参加者は最高18名までで締め切らせていただきます。今年にはシューベルト、モーツァルト、ベートーヴェン、ハイドンの歌曲並びにピアノ曲に重点を置き、勿論シューマンそして特別に、今年で死後100年を迎えるフランス歌曲の鬼才、C. ドビュッシーの作品も、今回のセミナーの注目点となります。歌曲との関連性の強いピアノ曲として、メンデルスゾーンが無言歌集やシューマンのピアノ小曲群も、特に伴奏を勉強したいピアニストたちには格好の作品です。それ以外の作曲家の作品でも、どうしてもオペラを歌いたい、という方も、勿論喜んでご一緒したいと思います。長時間の飛行は体にこたえるものなので、最も体の負担の少ない経路を選んでのツアーですが、僕は若くて長時間でも大丈夫、飛行機もホテルも自分で安いものを選びたい、という方はもちろん、現地での講習のみ参加もOKです。ご相談ください。また早朝出発のため前日成田宿泊をご希望の方も、ご相談ください。

<参加ツアー概要>



(2010年のスナップ写真左から：日本からの勇ましい参加者たち、レッスン風景、観光風景)

期間 2018年7月9日(月)成田出発、同日夕方ウィーン到着

7月10日(火)-15日(日)講習並びに観光

7月16日(月)ウィーン出発 17日(火)成田着

セミナーの講師は、みどり・オルトナーを中心としたウィーン在住の音楽家たち。

各歌曲リサイタルは、国立・市立オペラ座のソリスト並びにコンサート歌手たち。

参加費 **39万5000円** (講習のみ個人参加9万8000円)

航空運賃、全ホテル代、セミナー参加料、グループ観光での費用を含む

第一次申し込み締め切り **4月5日(木)**

銀行振込 三井住友銀行 田無支店 普通 4000966 名義：カ) デジフレーム

国内お申し込み、お問合せ：株式会社 デジフレーム 金城邦子

Mail : kinjoh@digiframe.co.jp Tel : 03-5366-1823、FAX : 03-5366-1824

主催 ピアノ芸術協会 *Verein „Freunde der Klavierkunst“*



グラールフェンエッグ城の前でポーズ



最後の晩はホイリゲで名残を惜しむ